

動物ふぁいる No.66
生き物ずかんかごしま水族館
マガキガイ

【かごしま水族館 ☎226-2233 FAX223-7692】



マガキガイは、西太平洋の熱帯・亜熱帯海域に分布する巻貝の一種です。体長6cmほどで、貝殻の形が似ているため、毒を持つイモガイ科と間違われることもあります。ソデボラ科で毒はありません。カタツムリのように長く伸びる目と、ゾウの鼻のように伸びる口が特徴的な、キモカワ系ともいえる貝です。

実は食用にもなり、奄美地方ではトビンニヤの名で、焼酎に合うおつまみとして人気があります。マガキガイはひっくり返ると、周囲の様子を確認し、蓋を使って跳び起きることから、跳ぶ貝の意味でトビンニヤと呼ばれています。

当館では、砂の表面やガラスに付いたコケや有機物などを削り取って食べており、水槽の掃除係として活躍しています。他の多くの水族館でも重宝されていますが、紹介されることが少ない、縁の下の力持ち的存在です。当館の南西諸島の海コーナーで展示していますので、ぜひご覧ください。

かごしまフォロワー
かごフォロパティシエ・ジェラートマエストロ
本多 エリカ さん

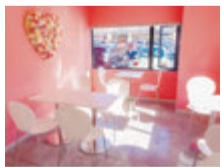
【広報課 ☎216-1133 FAX216-1134】



本市で洋菓子店「Sweet Sweets」(与次郎一丁目)を経営し、日本一のジェラート職人を決めるコンテストで優勝した本多さんにお話を伺いました。

パティシエを目指したのは、3人目の出産を機に看護師を退職し、知り合いの菓子店の手伝いを始めたのがきっかけです。プロの仕事を見て感化され、本格的に勉強するようになりました。

2010年に自身の店を構え、家族やスタッフの支えもあって、どうにかお店を軌道に乗せることができました。私にとってスイー



ツは「至福の瞬間」を与えてくれるもの。お客様にもそれを味わってほしくて、お店の内装や接客にも気を配りながら、一つ一つのお菓子を心を込めて作っています。

野菜やフルーツなどの素材の味を生かせるスイーツとしてジェラート作りを始め、コンテストの挑戦は3回目。鹿児島ならではの和紅茶とフルーツの組み合わせや、桜島や錦江湾の夕景をイメージした色合いの「鹿児島づくし」の作品で初優勝することができました。



優勝作品「知覧紅茶のフルーツティ」

専門学校に通わず、20代半ばからの挑戦という異色の経歴で実現できたからこそ、パティシエは夢のある仕事だと感じています。

今後も鹿児島を拠点に、スイーツを通して、地元の食

の素晴らしさなどを発信していきたいと思ひます。

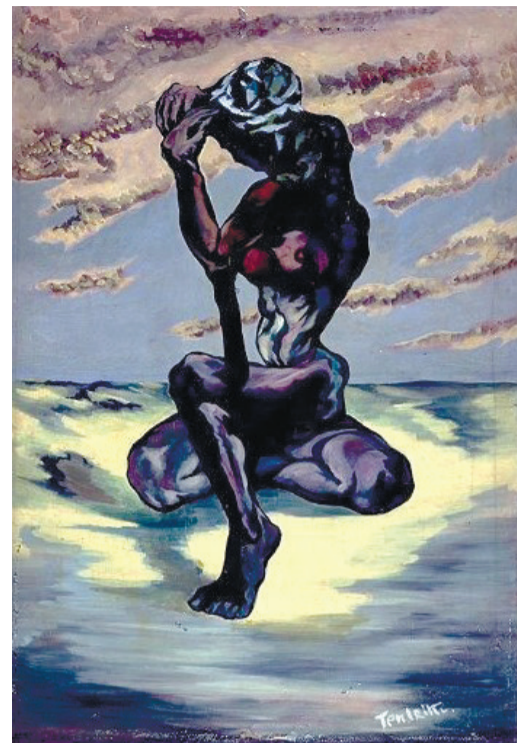
(インタビューの詳細は広報課フェイスブックなどでチェックを)

学芸員オススメ! No.83
市立美術館の逸品いりきてん かいらく
入来天 『快樂』

【市立美術館 ☎224-3400 FAX224-3409】

憧れのダリとの面会を果たした鹿児島島の画家

合理主義への反発や想像力の解放をうたったシュールレアリスム、超現実主義は、1920年代のパリに生まれ、世界各地に波及していった、20世紀美術の大きな潮流の一つです。鹿児島島にも作品を残した画家たちがおり、その代表格が入来天です。行動家の彼はフランス滞在時に、同主義の代表画家であるサルバドル・ダリがいたホテルを事前連絡なしに訪れ、面会にこぎつけています。



本作は、ダリの作品によく見られる地平線を強調した空間に奇抜な人物を配した画面構成ですが、ダリが描く写実的な絵とは異なり、入来の筆触は熱い情念を伝えてくるようです。人物の表情は仮面のようなものに隠れてよく見えませんが、3本目の脚が今にも動き出しそうで、無意識の欲望を表現しているような不思議な作品です。

※8月7日(日)まで開催される「初夏の所蔵品展」で展示しています

ひろばサポーターがゆく かごしま水族館

【かごしま水族館 ☎226-2233 FAX223-7692】

開館25周年 子どもと楽しめる水族館

5月30日で開館25周年を迎えたかごしま水族館へ、娘と一緒にってきました。

まずは、館長さんに話を伺いました。水族館の展示の特徴は鹿児島島の海の再現で、サンゴ礁や深海の世界など、いろいろな表情を見せる海の美しい景色

が、大小さまざまな水槽に展示されています。離島が多い鹿児島島の海には希少な生き物も多く、錦江湾内だけでも約1000種の魚が生息しているとのこと。25年かけて地元の漁師やダイバーの方との絆もでき、その方々が気付いたわずかな環境の変化や生き物の様子を展示に反映しているそうです。



次に館内を巡ってみました。この日は幼稚園の遠足や家族連れで来館している子どもたちも多く、楽しそうに過ごしていました。娘も水槽で泳ぐ魚たちを興味深そうに眺めていました。いおっこひろばやタッチプールなど、生き物や海に興味を持ってもらうきっかけづくりのスペースもあり、未就学児でも楽しめます。そして、私も利用し

てうれしかったのが授乳室。ミルク用のお湯が出るシンクやベビースケールもあり、赤ちゃん連れでも安心して滞在できますね。

時代や環境に合わせて変化しながら25周年を迎えた水族館。これからが楽しみな水族館の“今”を、ぜひ体感しに訪れてみてください。

ひろばサポーター
中村